

共同運営部門：中央放射線部

—概要—

放射線科部長が中央放射線部部長を兼任し、放射線診療(画像診断・IVR)・内視鏡診療・放射線治療に大別される。

中央診療部門として、放射線科(医師)・放射線技術科(診療放射線技師・事務員)・看護局放射線科(看護師・看護助手)および関連診療科(医師)で構成されている。

—運営—

毎月定例で「中央放射線部運営委員会」を開催し、画像診断機器の稼働状況(件数・故障履歴)の報告、その他の議題を検討している。

【中央放射線部受付】



—今年度の成果と反省点—

前年度とほぼ同数の検査(撮影)件数であった。
また、大型医療機器の更新はなし。

—来年度への抱負—

中期整備計画に基づき、画像診断機器を更新していく。

—実績—

2015年度の稼働実績は以下のとおり。

中央放射線部実績 (2015年度)		年度計(件)	地域
単純撮影等	単純撮影	44,682	
	乳房撮影	1,211	
	歯科撮影	729	
	骨塩定量	1,240	23
	病室撮影	23,898	
	術中撮影	1,875	
	計	73,635	
CT検査	単純	15,111	
	造影(心臓除く)	5,890	
	造影(心臓)	627	
	計	21,628	958
MRI 検査	単純	6,998	
	造影	1,274	
	計	8,272	1,135
血管造影	循環器	1,168	
	頭頸部	290	
	救命センター	291	
TV検査	他	1,098	
	計	2,847	
核医学検査		1,167	331
放射線治療	照射数	3,923	
超音波検査	放射線技師乳腺	1,982	
内視鏡検査	上部消化管	2,049	114
	下部消化管	1,117	
画像取込み	CD-R	2,885	
	フィルム	298	
	計	3,183	

* 地域(病診連携)の件数は年度計に含む。